

釜石市立小佐野公民館 事業実施報告

I 運営方針・重点目標

1. 運営方針

公民館は、地域住民のために社会教育を推進する拠点であり、住民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促し、人づくり・地域づくりに貢献する施設です。

生涯を通じて学ぶことで、充実した生きがいのある人生を送ることができ、人間性ゆたかな地域社会の構築につながることから、地域住民の主体的な生涯学習活動を推進するために「いつでも、誰でも、どこでも」自由に学習機会を選択でき学ぶことができる学びを推進します。

小佐野公民館は、地域コミュニケーションの核として、また情報発信基地として、各種団体等との連携を図りながら、生涯学習の推進と地域課題の解決に向けて、積極的に取り組んでいきます。

また、誰もが生きがいを持って安心して暮らせる地域包括ケアのまちづくりを進めるため、被災者や子ども、高齢者など様々な立場にある人同士の地域交流を大切にし、地域住民が主体的に取り組む活動を支援してまいります。

新型コロナウイルスは昨年5月に5類に移行し、制限も緩やかになりましたが、突発的な感染症まん延には即座に対応できるような事業運営に努め、利用者の安心・安全に繋がります。

2. 重点目標

- (1) 地域住民に親しまれ、気軽に立ち寄ることができ、地域住民に役立つ公民館の運営に努めます。
- (2) 一生涯の学びを提供するため、各年代の学習ニーズの把握に努め、学習の機会と場の提供に努めます。
- (3) 土曜日や長期休暇を利用し、子ども達が公民館活動に積極的に参加できる事業を実施するとともに、小・中学校、学童育成クラブやPTA等と連携協力してまいります。
- (4) 地域の自主活動グループ等に活動の場を提供するなど、主体的な学びに対して支援を行います。
- (5) 諸事業を推進するに当たり、関係機関・団体等との相互連携・協力関係を密にし、効果的な運営を心がけます。
- (6) 高齢者が学びを通じ、生きがいを持って地域とのつながりを持ち続けていくことができるよう支援します。
- (7) 利用者の協力を得ながら、新しい生活様式を取り入れ、安心して活動できるよう感染症予防に努めます。

Ⅱ 事業報告

1. 学齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域ぐるみ の子育てへ の支援	小佐野寺子屋 事業	長期休暇中の子どもの 居場所の提供、体験・ 学習活動を行い子育て 支援を図る。	① 子ども将棋教室[めざせ！竜王] 〔時期〕長期休暇（冬・春休み） 各3～4日間（午前のみ） ※冬休み分は1/5、9、12に実施済 〔場所〕小佐野公民館 〔対象〕管内小・中学生 ※冬休み13人（延べ34人） ※8名の定員に対し、13名の申込有 〔内容〕小佐野公民館自主活動グループ 「正棋会」の協力を得て、将棋教室を開催 〔実施状況〕 ※春休みは3/22、26、29で実施予 定 ※周知は小学校へのチラシ、前回参加者への案 内
	【成果と課題】 ・春休み期間中も開催予定。 ・参加した児童は、昨年度に引き続きの申込者が多く見受けられ、将棋はもちろんのこと、所作、礼儀についても真剣に指導を受けていた。 ・長期休暇中の子どもの居場所の提供等、子育て支援を図るとともに、高齢者との世代間交流の場、高齢者の生きがいつくりにつながる事業である。 ・地元出身の小山玲央くん（実家は定内町）の偉業に続くことが出来るよう、少しでも役に立つ事業として、継続したいと思う。		
	小佐野キッズ クラブ	さまざまなことを体験 し、考え学ぶ機会を創 出することにより、子 どもの好奇心を高め、 思考力、創造力、行動 力を伸ばす。	〔時期〕7月～1月 2回 土曜日、長期休暇期間中 ※9月24日（土）に実施予定だった が、学校行事、その他の行事との重複によ り、他の日程を確保できず、やむを得ず中 止とした
【成果と課題】 ・他の行事等と日程が重なったこと、参加（申込み）する児童が少なかったことから、実施日程の十分な考慮が必要である。 ・講座内容、地域資源の活用や世代間交流の場を創出するような事業を検討していくこととしたい。			

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域ぐるみの子育てへの支援	釜石中学校総合文化部コラボ事業	学業やクラブ活動などで他事業に参加できない生徒に対し、さまざまなことを体験し考え、学ぶ機会を創出することにより、生徒の思考力、創造力、行動力を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は実施なし
	【成果と課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・来年度は釜石中学校と協議し、様々なことを体験し、考え、学ぶ機会の創出を図りたい。 		
	子ども食堂の開設	見守りの一環として、子どもたちの新たな居場所の創出	〔時期〕 7月、12月 2回 〔対象〕 小佐野小児童 〔場所〕 小佐野公民館、小佐野小体育館 〔内容〕 <ul style="list-style-type: none"> ・学習の補助 ・ニュースポーツ、軽運動による遊びの場創出 ・紙芝居、折り紙教室 ・お金にまつわるわかりやすい講座 ・食事の提供 7月・127人・カレー 12月(クリスマス)・108人・シチュー
【成果と課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期、実施回数は適切だったのかどうかの検証が必要だと思われる。 ・例えば、もっと狭い範囲で、参加者も少なめにし、回数は増やすといったことはどうか。 ・小佐野を手本として、他地区でも実施予定あり(3/23 平田、3/30 甲子)。今後の実施には、先駆者として、より高水準な内容が求められるといえる。 			

2. 成人期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
健康づくり	スポーツ交流会	スポーツを通じて小佐野管内住民が交流しながら、自らの健康意識の向上やリフレッシュを図る。	① 西地区合同ウォーキング交流会 〔時期〕 6/12、20、26、7/4に実施済 〔場所〕 大橋駅前から釜石駅前まで 〔対象〕 地域住民(西地区) ※小佐野地区参加者6名(延べ13人) 〔内容〕 <u>大橋駅前から釜石駅前までを4区</u>

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			<p><u>間に分けて4日間で完歩した。</u></p> <p>② 西地区合同日向ダム見学交流会 〔時期〕8月4日実施済 〔場所〕日向ダム 〔対象〕地域住民(西地区) ※小佐野地区参加者 5名 〔内容〕日向ダムは、一部の方には知られているものの、まだまだ知られていないことから普段見ることのないダムの管理棟内やダム堤体内部見ることが出来た。</p> <p>③ 西地区合同ソフトボール交流会 〔時期〕9月13日に実施済み 〔場所〕大天場運動広場 〔対象〕地域住民(西地区) ※小佐野地区参加者 15名 〔内容〕甲子・小佐野・中妻で活発に活動しているソフトボールで交流会を開催した。</p> <p>④ 西地区合同スポーツ交流会 〔時期〕10月13日実施済 〔場所〕釜石市球技場 〔対象〕地域住民 ※小佐野地区参加者 11名 〔内容・実施状況〕 ※グランドゴルフ・スカットボール・ポッチャ 3種目実施 ※スポーツ推進課(スポーツ推進員)の協力を得て実施できた。</p> <p>⑤ 西地区合同干し柿づくり体験交流会 〔時期〕10月27日に実施済 〔場所〕甲子林業センター 〔対象〕地域住民 ※小佐野地区参加者 10名 〔内容・実施状況〕 ※季節の風物詩である干し柿作りの体験会を実施した。</p>
	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3地区公民館(甲子・小佐野・中妻)合同で開催。 ・ニュースポーツ等を通じて地域住民の良好な関係づくり、交流の場となった。 		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			<ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降も開催し区域を越えた交流の場、健康づくりの場の創出を図りたい。 ・参加者が偏ってしまう傾向がり、幅広い参加者の掘り起こしが必要である。
	健康教室	地域や世代を超えた交流の場を創出し、住民主体の活動へつなげると共に健康意識の向上、増進を図る	<p>はまゆり健康づくり教室</p> <p>〔時期〕 4月から毎月1～2回</p> <p>〔場所〕 小佐野公民館 3階大ホール</p> <p>〔対象〕 地域住民</p> <p>〔内容・実施状況〕</p> <p>ストレッチ体操、ニュースポーツ等 講師/スポーツ推進員 佐藤千依</p> <p>4/24・18名、5/8・14名、 5/22・18名、6/12・18名、 6/26・15名、7/10・14名、 7/24・12名、8/14・6名、 8/28・18名、9/11・16名、 9/25・17名、10/23・15名、 11/13・19名、11/27・19名、 12/11・17名、12/25・18名、 1/22・12名、2/26・5名、3/25</p>
	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や世代を超えた交流機会を創出し、健康づくりの継続と主体的活動へのきっかけとすることを目指して取り組んでいるものである。 ・今後、参加者同士が交流を深め自主的に活動するグループへと発展させることが課題。 		
	チームオレンシ・こさの関連	認知症支援の取組み	<p>〔対象・内容・実施状況〕</p> <p>11/20 21人 小ホール 認知症サポーター養成講座</p> <p>11/29 48人 大ホール 研修会（権利擁護講座、現状の問題点）</p>
	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他人ごとではない少子高齢化の中で、認知症支援への関心は年々高まっている。 ・何もしなければ、せっかく集まったメンバーも減っていく。新たな活動に取り組み、新たなメンバーを加入させて、活動を充実、継続させていく必要がある。 		
	健康講座	健康や疾患等正しい知識を得るとともに行動変容への意識向上を図る。	<p>〔対象・内容・実施状況〕</p> <p>※自主活動グループ等の支援 参照</p>

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	<p>【成果と課題】</p> <p>各自主活動グループを対象の健康講座は、年間通じて、市の健康課題である「脳卒中」に重点を置き、家庭での血圧測定方法、味覚チェック、食事の傾向（塩分摂りすぎポイント）チェックを用いて実施した。</p> <p>新規で、NPO が運営している親子サロンに出向き、子どもの発達支援や親のストレス対処をテーマに講座開催を試みた。</p> <p>また、働き世代へアプローチする機会として、健康推進課として企業へ健康講座に出向いた際、公民館だよりも健康アドバイスを掲載していることを普及したい。</p>		
	健康相談事業	心身の状態を知る機会とし、健康意識の向上、増進を図る。	<p>個別健康相談会</p> <p>〔時期〕 随時</p> <p>〔場所〕 小佐野公民館</p> <p>〔対象〕 地域住民</p> <p>〔内容・実施状況〕</p> <p>健康についての相談、生活習慣指導等</p>
	<p>【成果と課題】</p> <p>子育て世代については乳幼児健診や子育て支援センターを通じて相談先として周知、高齢者は相談先として浸透している。成人期には相談先として認知されているかは不明であり、健康推進課の健診・検診事業や企業訪問事業と協同して周知していく。</p>		
男女共同参画の推進	男の料理教室	男性も調理実習に参加することで、参加者同士で交流を図り、閉じこもり予防と自らの健康保持・心身のリフレッシュを図る。	<p>小川メンズグルメ会</p> <p>〔時期〕 年6回活動支援</p> <p>〔場所〕 小川集会所</p> <p>〔対象〕 住民 会員7人（3月現在）</p> <p>〔内容・実施状況〕</p> <p>調理実習と健康講座（会の目標設定、食中毒予防、脳卒中予防）</p> <p>5/9、7/11、9/12、11/21、1/16、3/5</p>
	<p>【成果と課題】</p> <p>コロナ流行後、活動を一時休止し解散も検討していた。昨年度から、長年活動してきた会員の多くが退会し、大半が新規会員である。町内婦人部の活動やほか地区の男の料理教室をつなぎ、情報交換や交流の場を通して男性陣がやりがいを持って活気ある活動ができるよう支援していく。</p>		
芸術文化活動の推進	教養講座	音楽の世界に触れることにより、生きがいや教養を身につける。	<p>音楽の力による復興コンサート</p> <p>〔時期〕 9月・2月 各1回</p> <p>〔場所〕 小佐野公民館</p> <p>〔対象〕 地域住民</p> <p>〔内容〕 (公財)「音楽の力による復興セン</p>

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
芸術文化活動の推進			ター・東北」による、ピアノとうたのコンサート ※1回目9/20に実施 20人鑑賞 ※2回目2/24に実施 23人鑑賞
	【成果と課題】 ・高齢の来場者が多いことに配慮し、足腰への負担が少しでも軽減されるよう、2月は2階の小ホールで実施（初）。会場変更は概ね好評。 ・行事自体も参加者からは大変好評で、継続開催を望む声が多数ある。（別会場をハシゴする人も） ・（公財）「音楽の力による復興センター・東北」が「令和5年度岩手県被災者の参画による心の復興事業」による補助を受けて市内各所で開催しており、来年度以降の開催可否については未定。		
	市民講座	学び、体験、交流の場をつくり、学び得た知識や体験を日々の生活や地域活動に活かす。	童謡・唱歌を楽しむ会 〔時期〕11月～3月 2回 〔場所〕小佐野公民館 〔対象〕地域住民 〔内容・実施状況〕 四季のうたを歌う ・実施なし
	【成果と課題】 ・熱心な参加者が多く、参加者同士の交流の場になっていて、交流を深めながら楽しく歌って有意義な時間を過ごす場となるが、日程を確保できず実施できなかった。		
	パッチワーク講座（初）	新たな趣味の発掘、充実と参加者間の交流	〔対象・内容・実施状況〕 第1期 作品：マルチケース 第2期 作品：ランチバック それぞれ火曜と土曜のコースを設定 各コース週1回×3回で完成 各回7～8名参加 講師：関政子先生（甲子町在住） 日程：1～4月まで設定済（詳細略）
【成果と課題】 ・他に、平田と唐丹の応援センターで実施中だが、一週間のうちで平日（火）と週末（土）の2回の日程を組んだのは小佐野だけ。先生は大変だと思うが受講生には好評。 ・口コミ等で話が広まり、じわじわと参加者が増えている（中妻地区等からも参加）。第3、第4期と考えていきたいが、先生の都合（自らの個展等）により、しばらく休止し、次の開催は10月頃の予定。			

3. 地域や世代を超えた事業

施策	事業名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
交流の場の創出	小佐野公民館まつり	活動成果の発表により交流を深め、今後一層の活動意欲の向上を図るとともに生涯学習の振興に資する。	新型コロナウイルスの拡大防止のため中止
	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き中止。 ・開催にあたり新型コロナウイルスの感染拡大防止策として飛沫感染や接触感染のリスクを伴う活動を制限することで参加団体が限定され、公正な開催が困難となる。 ・県内感染者が確認されており収束が見通せない状況の中、不特定多数の方が参加する公民館まつりを開催することで、参加者の感染リスクが高まる。 ・来年度については、参加団体の意向も踏まえ安心して多くの方に参加していただけるよう状況に応じた内容での開催を検討したい。 		
社会参加の促進	自主活動グループ等の支援	地区住民・自主活動グループなどの要請に応じ、センター職員を健康教育等の目的で派遣し運営の支援を行なう。	<p>① よったんせ 〔時期〕 毎月開催のうち、年1回 〔場所〕 小佐野コミュニティ会館 〔対象〕 地域団体 〔内容・実施状況〕 4/27(18人):「脳卒中予防」</p> <p>② いきいき小佐野会 〔時期〕 毎週開催のうち、年1回 〔場所〕 小佐野コミュニティ会館 〔対象〕 〔内容・実施状況〕 6/14(20人)「脳卒中予防」</p> <p>③ ひまわり会 〔時期〕 毎月開催のうち、年3回 〔場所〕 ひまわり集会所 〔対象〕 地域団体 〔内容・実施状況〕 4/11(9人):「脂質異常症とウォーキングのすすめ」、12/12(8人):「脳卒中予防」、3/12:「チームオレンジ交流会」</p> <p>④ 向定内ヘルシー教室 〔時期〕 年3回 〔場所〕 ひまわり集会所 〔対象〕 地域住民</p>

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			<p>〔内容・実施状況〕 調理実習と健康講座：「食中毒予防」「フレイル予防」「脳卒中予防」など 6/8 (8人)、10/5 (7人)、12/21 (7人)</p> <p>⑤ 菜の花会 〔時期〕 毎週開催のうち、年2回 〔場所〕 中小川集会所 〔対象〕 地域団体 〔内容・実施状況〕 5/23 (10人)、11/28(7人)：「脳卒中予防」</p> <p>⑥ 小川ふれあいクラブ 〔時期〕 毎月開催のうち、年1回 〔場所〕 小川集会所 〔対象〕 地域住民 〔内容・実施状況〕 2/8 (16人)：「脳卒中予防」</p> <p>⑦ 暖チーズサロン 〔時期〕 毎月開催のうち、年2回 〔場所〕 野田団地小佐野公民館分館 〔対象〕 地域住民 〔内容・実施状況〕 6/16 (19人)：「オーラルフレイル予防」、2/16 (28人)：「脳卒中予防」</p> <p>⑧ きらきらサロン 〔時期〕 毎週(火)開催のうち、年2回 〔場所〕 向定内集会所 〔対象〕 乳幼児の保護者 〔内容・実施状況〕 9/19 (7組)：「ことばを育むかかわり」、3/26：「子どものこころと親のストレス対処」</p>
	<p>【成果と課題】 地区住民組織や町内会がそれぞれが工夫を凝らした運営で、地区住民の社会参加の機会を創り上げている。各団体の定例開催に合わせ、年に数回ずつ健康講座を実施した。各組織が運営を継続、且つ健康意識を維持・向上していただく機会となるよう、意見を交わしながら、次年度も支援していく。</p>		

4. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
社会教育施設等の充実	施設の貸館	地域の学び、考え、行動する拠点として公民館施設を活用する。	自主活動グループ、一般団体に対して、活動の場として施設ホール等の貸し出しを行う。 〔時期〕 通年 〔場所〕 小佐野コミュニティ会館 〔対象〕 一般団体・市民 〔内容・実施状況〕 利用人数 13,508人 (R6.2 末現在) 前年同期比 +75人
	【成果と課題】		
	<ul style="list-style-type: none"> 各グループの参加者は高齢化が進んでおり、階段の昇降が大変だと訴える方も多く、施設整備や活動継続のための後継者の確保が課題。 新型コロナが落ち着いてきたことから、利用者が若干増えてきている。 		
	施設の維持管理	安全・快適な利用環境を整える。	清掃業務・消防機器点検等の各種委託業務を実施。 時間外・休日等の施設業務は小佐野町内会に委託する。
【成果と課題】			
<ul style="list-style-type: none"> 利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう点検や修繕を行なったほか、小佐野町内会と連携しながら会館の管理運営を行なった。 年々施設の老朽化が進んでおり、特にも屋上の雨漏りから発生する対応に苦慮していたが、防水工事を実施し課題解消。 利用者が安心して利用できるよう、管内設備の消毒や換気等感染症予防対策に取り組んだ(5 類移行後は緩やかに)。 			

5. 市民が主役の学び社会を目指した事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
生涯学習推進体制の整備	公民館運営審議会	公民館における各種事業の企画及び実施につき調査審査を行う。	〔時期〕 年2回、5/29・3/7 〔場所〕 小佐野公民館 〔対象〕 審議会委員 〔内容〕 委員による公民館運営等の審議
	【成果と課題】 公民館の適切な運営を維持するため、運営方針及び事業計画について審議した。		
生涯学習ネットワーク	「公民館だより」の発行	学び・健康・地域づくりをテーマとした学習	公民館事業、その他地域の情報をPRするため、「小佐野公民館だより」を発行す

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
の形成		機会と場を提供し、以て住民の生涯学習意欲を引き出す。	<p>る。</p> <p>〔時期〕 毎月1回1日発行</p> <p>〔対象〕 地域住民・小佐野小学校生徒等</p> <p>〔内容・実施状況〕</p> <p>イベント周知・結果報告、保健事業等の情報、地域の話題など約 4,000 部発行</p>
<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 令和4年1月1日号から約9割全戸配布とし、継続中。 • 小中学校配布分は、メールで送るなど簡素化を継続中。 • 何かと掲載記事が多く、従来の高齢介護福祉課地域包括支援センターのコーナー、菊池流帆選手情報、小山玲央棋士の情報が手薄になった。 			